

トンネル工事における社会課題を解決するドリルジャンボを動画で紹介

当社（社長：中戸川 稔）は、グループ中核事業会社の古河ロックドリル株式会社（東京都千代田区、社長：山口 正己）の主力製品であるトンネルドリルジャンボを紹介する動画「【社会課題を解決】巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編」を制作し、YouTube に公開しました。



トンネルドリルジャンボ 国内シェア80%

「【社会課題を解決】巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編」

「【社会課題を解決】巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編」について

本動画では、国内約 80%のシェア^{※1}を誇るトンネルドリルジャンボについて、その役割をアニメーションで紹介するとともに、日本の山岳トンネル工事における社会課題をどのように解決しているかを簡潔にまとめました。

北海道整備新幹線やリニア中央新幹線、各高速道路等を整備するために行われている山岳トンネル工事現場では、少子高齢化による作業員不足や危険が付きまとう現場の安全性の向上が課題となっています。本動画では、その解決策として開発した全自動ドリルジャンボ「ROBOROCK[®]」のほか、トンネル工事の各作業工程の自動化・安全性向上を実現するトンネル工事用機械を、約 4 分間でわかりやすく紹介しています。建設現場で加速している ICT 化の一助を担う、各種製品の活躍をぜひご覧ください。

当社グループは引き続き、社会課題を解決する製品・サービス・技術をステークホルダーの皆様にはわかりやすく紹介し、社会に必要とされる企業であり続けるための取り組みを、さまざまなツールを通じて PR していきます。

「【社会課題を解決】巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編」はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=1tDy0vfI2So>

※1 シェアは当社調べ

関連リリース

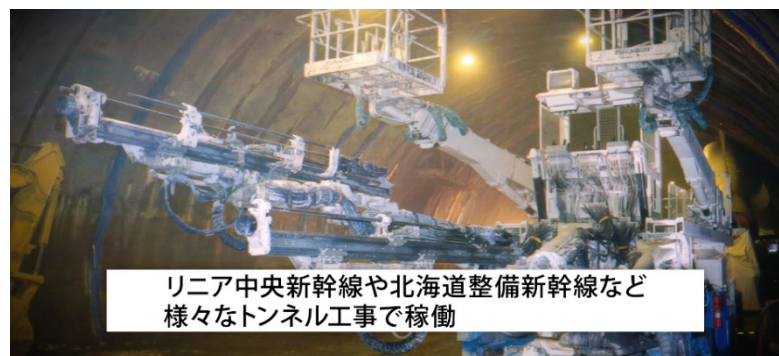
- ・2020年6月15日発表「ロックドリル部門：全自動ドリルジャンボ『J32RX-Hi ROBOROCK[®]』を開発・販売開始」
https://www.furukawakk.co.jp/info/2020/20200615_release.html
- ・2022年9月2日発表「ロックボルト専用機が国土技術開発賞および日本建設機械施工大賞受賞」
https://www.furukawakk.co.jp/info/2022/20220902_post_37.html
- ・2022年10月21日発表「国内初、遠隔技術を活用したトンネルドリルジャンボが日本建設機械施工大賞を受賞
～せん孔作業時における切羽での無人化施工を実現～」
https://www.furukawakk.co.jp/info/2022/20221021_post_39.html
- ・2022年11月22日発表「山岳トンネル施工ロボット 2 機種が第 10 回ロボット大賞・国土交通大臣賞を受賞
～危険で過酷な作業であるロックボルト打設・支保工建込みを完全機械化～」
https://www.furukawakk.co.jp/info/2022/20221122_2_10.html

・2023年4月5日発表「全自動ドリルジャンボとロックボルト施工機を NETIS に登録
～山岳トンネル工事における省人化や効率化により施工性と安全性を向上～」
https://www.furukawakk.co.jp/info/2023/20230405_netis.html

トンネルドリルジャンボとは

山岳トンネル工事の発破工法において使用され、切羽で爆薬を装填するための孔をあける機械です。当社グループのトンネルドリルジャンボは、国内の道路や鉄道の山岳トンネルのほとんどで使用された実績があります。

画面キャプチャー



【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,831人 〈単独〉208人 [2023年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山口 正己

事業内容：1914年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961（昭和36）年6月

資本金：4億円

従業員数：505人 [2023年3月31日現在]

WEBサイト：<http://www.furukawarockdrill.co.jp/index.htm>



強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。